

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学遊館ティーンズ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 16日	～	令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 7日	～	令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労に向けての支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就労を見据えた事業所見学や体験の取組 2. 事業所内での作業訓練にて利用者のできる事を把握しより一層、できることを伸ばす支援を実施している。 3. 自立に向けた個別対応型の支援を実施している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就労体験で自信をつけてもらい、体験終了後の振り返りが報告書にて提出ができ、人前で、内容の発表ができるように支援する。 2. 作業工程の中で失敗した時の報告・連絡や解らない事に対する相談など報・連・相ができるようになる。 3. 自立に向けて日常の当たり前にできる訓練(挨拶、調理など)を実施する。
2	いろいろな活動プログラムの充実	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学生と中・高校生に分けた活動プログラムの取組。 2. 釣り、体育館、プール、e-スポーツ、公園(アスレチック)などの外出活動の取組。 3. 5領域に特化した取組。 4. 専門的支援の取組 	<ol style="list-style-type: none"> 1. SSTや買い物支援、金銭関係など小学生に話す内容と中・高校生に話す内容などを分けた取組支援をする。 2. 外出活動でいろいろな体験をし、集団での過ごし方や関わり方を学ぶ支援をする。 3. 日々の活動プログラムの内容を5領域に合った取組で支援をする。 4. 個々の支援計画の中で、特に支援強化する目標と保護者からの要望を踏まえ、月に数回の個別の支援を実施している。
3	事業所全体のイベント開催	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年間スケジュールとして事業所全体のイベント取組。 2. 年2回の保護者会の開催 	<ol style="list-style-type: none"> 1. フリーマーケット、乗船体験、キャンプ、運動会、クリスマスなどのイベントを事業所全体で実施し、保護者や関係機関との信頼関係を築く取組支援をする。 2. 保護者会を事業所事と全体と分けての会を実施し、本音で何でも話せる会の取組支援をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の支援力がまだまだ不十分	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員のスキルアップをし、質の向上が必要である。 2. その日の支援内容の振り返り及び他職員への周知ができていない。 3. 毎月の目標計画がマンネリ化になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社で指定する勉強会や個人で行う勉強会に積極的に取り組むようにしている。 2. 活動内容書を担当者ごとに作成し、実施するその日の朝礼で内容を他職員に周知する。又、終礼時に振り返りを全員で行う。 3. 個別の毎月の目標計画が支援中心になるように再度、職員へ周知するとともに週報で進捗状況を確認する。
2	地域交流支援が少ない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の人との関わりが少ない。 2. 地域でのイベントの参加が少ない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近隣の幼稚園の園庭に転がっている石ころ拾いを利用者と一緒に、定期的実施する。 2. 近くの南宮崎駅前で行われている子ども達を集めたイベントに積極的に関わるようにする。
3	就労見学・体験が少ない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就労見学又は体験が月に1回程度を増やす必要がある。 2. 就労見学・体験先への繋がりが弱い。 3. 就労関連セミナーの職員の参加が少ない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就労見学・体験については毎月の活動プログラムに月2回以上実施することを検討中。年間計画表を作成する。 2. 就労見学・体験先の繋がりを強化策として自立支援協議会の就労支援部会に参加している各事業所の方々とコミュニケーションを図り、いつでも見学・体験ができるようにする。 3. 自立支援協議会の就労部会のセミナーなどに積極的に職員が参加をし、保護者へ案内をする。